

# エバマックス2000

2018年12月

No. 6429

タイプ	ハイソリッド形エポキシ樹脂系塗料			
特長	①コールトール、重金属を含まないため、衛生的である。 ②淡彩色のものが供給できる。 ③耐磨耗性顔料入りで、耐衝撃性・耐磨耗性が優秀 ④耐水性、耐海水性が優秀			
用途	船舶カーゴホールド用			
塗料性状	混合比率（質量比） ・ 主剤：硬化剤 = 84：16 色 ・ ・ ・ ・ ・ グレー、赤さび 密度 ・ ・ ・ ・ ・ 1.56 g/mL 容量NV（VS） ・ ・ 78±2% 重量VOC ・ ・ ・ ・ ・ 16.6 wt% 塗付量（理論値） ・ ・ 199～499 g/m <sup>2</sup> 膜厚 ・ ・ ・ ・ ・ ウェット 128～321 μm ・ ・ ・ ・ ・ ドライ 100～250 μm			
(D.F.T. 200 μm)				
乾燥時間	指触硬化	10℃	20℃	30℃
		10時間	5時間	3時間
塗装間隔	最短	22時間	14時間	10時間
	最長	15日	10日	7日
可使時間		5時間	2.5時間	1.5時間
塗装条件	塗装方法 ・ ・ ・ ・ ・ エアレススプレー、はけ塗り、ローラー塗り 気象 ・ ・ ・ ・ ・ 温度：10℃以上、湿度：85%RH以下 エアレススプレー時 ・ 適正粘度：1.5～2 Pa・s ・ チップ No.：(GRACO) 419～623 ・ 二次(塗料)圧：15～25 MPa ・ ガン移動速度：60～80 cm/秒 シンナー ・ ・ ・ ・ ・ エポキシ用シンナーA、 ・ 希釈率：0～15% [容量%] 素地調整 ・ ・ ・ ・ ・ 新造・新設：造船所標準に準じます。販売店または弊社までお問い合わせ願います。 ・ 補修・保守：油分またはグリース等を除去し、塩分等は（高圧）清水洗いして、清浄にして乾燥させて下さい。発錆部・溶接部およびショップライマーが損傷を受けた部分は、Sa2 (ISO 8501-1:2007)または St3 (ISO 8501-1:2007)に準じて処理して下さい。 ・ 水プラスト：販売店または弊社までお問い合わせ願います。 ・ 素地調整の方法は、素地および期待・要求される防食性能に依ります。 適合下塗 ・ ・ ・ ・ ・ NZプライマーS、セラボンド2000 適合上塗 ・ ・ ・ ・ ・ -			
使用上の注意	①換気、火気に十分注意して下さい。なお、塗装のみならず、塗膜が硬化するまで換気が必要です。 ②2液混合形ですので、規定の混合比で混合してから使用して下さい。まず主剤を均一になるまで十分攪拌した後、硬化剤を徐々に加えて全体が均一になるまでさらに十分攪拌して下さい。さらに必要量シンナーを加えて、均一になるまで攪拌して下さい。 ③本製品は、含まれる顔料が沈降しやすい傾向にありますが、攪拌を十分に行ない、均一にすれば、性能上問題ありません。 ④過剰なシンナーの添加は、タレ止め性や塗膜形成の低下を招く恐れがあります。 ⑤可使時間に制限がありますので必要量のみ調合して下さい。 ⑥ホールド内施工の場合、エアレス塗装で膜厚保持の難しい場所については、先行塗りまたは後行塗り(ストライプコート)の実施を推奨します。 ⑦日光に直接暴露される場合は、重ね塗りは出来るだけ早く行って下さい。 ⑧カーゴホールドへの積荷積載までの養生期間 温度 10℃ 20℃ 30℃ 期間(DFT200 μm) 20日 12日 7日 期間(DFT350 μm) 30日 18日 11日 ⑨SDSおよび容器に表示の注意事項をよく読んで取り扱い下さい。			

# エバマックス2000 (2018年12月版)

荷 姿	20kgセット、5kgセット	
危険物表示	【主剤】	/ 【硬化剤】
	消防庁登録記号 . . .	147761 / 147859
	引火点 . . . . .	37.0℃ / 21.5℃
	消防法危険物区分 . .	第二石油類 / 第二石油類
	爆発限界(体積%) . .	下限 1.1、上限 12.0
有機溶剤区分 . . . .	第二種有機溶剤	
備 考	①FDA DRY CARGOの認定がありませんので、穀物類用カーゴへの適用はできません。	
	②冬期など、15℃以下の施工の場合は、エバマックス2000QDを使用して下さい。	
	③塗装条件等については最寄の弊社営業所にお問い合わせ願います。	
	④エポキシ樹脂の特性として、紫外線によるチョーキングと退色は避けられません。	
	⑤VOC量は、塗料の代表配合(グレー)から計算した値です(無希釈状態)。色相等により数値が若干異なる場合があります。	

本製品説明書に記されている使用条件、使用上の注意事項等を逸脱した使用により生じる品質の異常は使用者の責任にて対応願います。当社が指定する以外の塗料、添加剤等を混合すると、単に品質の異常をきたすのみならず、安全上の問題が発生することもありますので、使用者の責任において安全性、品質等を確認願います。